

1 One TEAM REPORT



摂食嚥下支援チーム

摂食嚥下支援チームは、耳鼻咽喉科医師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、言語聴覚士、管理栄養士を中心に、一人でも多くの患者さんが「安全においしく食べる」ことができるようチーム一丸となって活動しております。

主な活動として、嚥下評価を行い、患者さんに応じた食事形態の選択、食事摂取・介助方法の検討および嚥下方法の指導、また必要に応じて、嚥下内視鏡検査（VE）や嚥下造影検査（VF）を実施しています。その他、週1回カンファレンスを開催し、摂食機能療法の効果判定や訓練内容を検討し、より安全においしく食べる支援を行っています。年々需要が高まっている中で、当院の介入件数も年々増加している状況です。

これからも患者さんとそのご家族の希望を確認しながら、誤嚥性肺炎の予防に加え、患者さんが少しでも食べる楽しみを感じ、口から食べ続けられるよう努めていきます。院外からの紹介も対応しております。お困りごとがあれば、当院耳鼻咽喉科外来までご連絡・ご相談ください。

摂食嚥下支援チームの ミッション

摂食・嚥下障害看護認定看護師：
嚥下評価、嚥下訓練、食形態の調整など言語聴覚士と連携して行っています。また、脱水や低栄養、誤嚥、窒息といったリスク管理に関する指導も行っています。

言語聴覚士：
嚥下機能改善を目的とした訓練や代償嚥下法の検討及びポジショニング等の助言を行っています。理学療法士や作業療法士など他リハビリスタッフとも連携し、より早く安全に経口摂取が出来るように努めています。

耳鼻咽喉科医師：
まずは口腔内の状態や舌の動きなどを観察し、麻痺がないか確認します。その後、鼻から内視鏡を挿入し、喉の構造や動きなどを観察します。実際に飲んだり食べたりした際の喉の中の状態も見ます。また、透視検査を行い水や食物などが口腔から咽頭、食道をどのように通っていくのかなどを観察します。

管理栄養士：
各患者の嚥下機能に合わせた食形態はもちろん、疾患を考慮した食種の提案を行っています。患者の嗜好に合わせた食事調整を行い、摂取量が改善するように補助食品の調整などのサポートも行っています。また、退院時には、必要に応じて患者さんや家族に対して、食事内容や調理の工夫について、栄養指導も行っています。



嚥下内視鏡検査(VE)



カンファレンス

嚥下障害に関するご相談については、こちらにご連絡ください。
耳鼻咽喉科外来（平日14時～16時） ☎095-822-3251